

(様式6) 地域再生基盤強化交付金 事後評価書

計画の名称	産業活力の向上と伊東の海、魅力再発見							
計画の期間	平成21年度 ～ 平成27年度			交付対象	静岡県、伊東市			
計画の目標	伊東市域沿岸において海上ネットワークを形成し、海上レジャーとともに観光資源としての海の魅力を高めるほか、荒天時・災害時・常時における漁船の安全係留の確保や老朽化した施設の整備による就労者の労働軽減を図り、水産物の安全で安定的な供給を実現することを目標とする。							
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊東市沿岸観光交流客数の増加 15.2万人 (H21) →17.0万人 (H27)</li> <li>伊東市沿岸漁業者一人当たりの水産物水揚量の増加 15 t/人 (H21)→18 t/人 (H27)</li> <li>伊東港への避難船受け入れ数の増加 4隻 (H21) →11隻 (H27)</li> <li>宇佐美漁港の安全係船岸充足率 (休けい) の増加 55% (H21)→100% (H27)</li> </ul>							
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考	
				当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H 末)	最終目標値 (H27末)		
①	伊東港を利用する遊覧船、旅客船の利用者数の増加見込みと過年度利用者数の合計を算出する。 (最終目標値) = (平成14年度～平成19年度の平均利用者数) + (利用者増加見込み数)			15.2万人		17.0万人		
②	いとう漁協の平均年間水揚量 (見込) から漁業者数 (組合員数) より1人当たりの水揚量を算出する。 (1人当たりの年間水揚量) = (過去平均水揚量) / (漁業者数 (組合員数))			15.0 t		18.0 t		
③	荒天時に係留不可の避難船を係留するのに必要な岸壁延長 (荒天時の避難係留船舶数の確保) = (現在係留可能岸壁延長) / (事業後の追加係留岸壁延長)			4隻		11隻		
④	隻数が安全に係留するために必要な物揚場延長を計算し、施設整備後の係留可能な延長より算出する。 (船舶充足率) = (漁船に係留可能な延長) / (漁船に係留に必要な延長)			55%		100%		
全体事業費	合計 (A+B+C)	888 百万円	A	690 百万円	B	199 百万円	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ							
第2期 (H20～H24)				第3期 (H25～H29)			
分野名	活力・交流			分野名	活力・交流		
目標名	活力・交流交流の基盤となる陸・海・空のネットワーク形成			目標名	港湾機能の強化		
指標名	地域の産業基盤となる港湾の整備		目標値 (H24)	11港湾	指標名	目標値 (H29)	

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) -：その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))

A1 港湾事業													全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 者	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)									
										H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
	港湾		静岡県	直接	-	建設	港整備交付金事業	浮棧橋 (-5.0m) L=20m	伊東港・静海地区								390	○	
	港湾		静岡県	直接	-	建設	港整備交付金事業	南物揚場 (-3.0m) L=20m	伊東港・静海地区								56	○	
	港湾		静岡県	直接	-	改良	港整備交付金事業	玖須美泊地 (-7.0m) V=5,000m <sup>3</sup>	伊東港・静海地区								3	○	
	港湾		静岡県	直接	-	建設	港整備交付金事業	白石防波堤L=66.0m	伊東港・白石地区								18	-	未実施
	港湾		静岡県	直接	-	改良	港整備交付金事業	東防波堤L=130.0m	伊東港・静海地区								224	△	H28
合計																690			

B 漁港整備事業													全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 者	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)									
										H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
	漁港		伊東市	間接		改良	港整備交付金	東留田東防波堤 測量設計	伊東市・宇佐美漁港								9.9	○	
	漁港		伊東市	間接		改良	港整備交付金	東留田東防波堤L=90.5m 東留田東物揚場 (-3.0m) L=87.6m 東留田泊地 (-3.0m) V=5,105m <sup>3</sup>	伊東市・宇佐美漁港								164.1	○	
	漁港		伊東市	間接		改良	港整備交付金	東留田東物揚場 (-3.0m) L=100m	伊東市・宇佐美漁港								8.4	○	
	漁港		伊東市	間接		改良	港整備交付金	北・南物揚場 (-3.0m) L=48.2m	伊東市・富戸漁港								6.3	○	
	漁港		伊東市	間接		改良	港整備交付金	富戸漁港泊地 (-2.0m) V=1,229m <sup>3</sup>	伊東市・富戸漁港								9.9	○	
合計																199			

番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考

C 効果促進事業													全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)								
										H22	H23	H24	H25	H26				
合計																		

番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・遊覧船・旅客船の発着可能な岸壁の整備を行い、更なる観光交流の向上が期待されるが、現時点では目標に達していない。
- ・港湾・漁港の係留施設の整備をしたことにより、就労者の労働軽減は図れたが、一人当たり水揚量は目標に達していない。
- ・伊東港において、岸壁を整備したことにより、目標である避難船受け入れ数が増加し、荒天時や災害時に避難してくる周辺漁船の安全係留が確保された。
- ・宇佐美漁港において物揚場を整備したことにより、目標である安全係船岸充足率が増加し、漁船の安全係留が確保された。

II 定量的指標の達成状況	指標① (伊東市沿岸観光交流客数の増加)	最終目標値	17.0万人	目標値と実績値に差が出た要因	H21計画策定時の15.2万人に対し、沿岸観光交流客数は12.4万人で18.4%減となった。要因としては、H23.3に発生した東日本大震災の影響により沿岸部への観光交流が減少していることが考えられる。
		最終実績値	12.4万人		

	指標②（伊東市沿岸漁業者一人当たりの水産物水揚量の増加）	最終目標値	18.0 t/人	目標値と実績値に差が出た要因	当初現状15.0 tに対し、年間水揚量は16.5 tで10.0%の増加であった。要因としては、近年の海水温の上昇により通年漁獲されていた魚種（サバ類・アジ類）の減少によるものと考えられます。また、平成23年3月に資源管理指針に基づく資源保護を目的とした漁獲制限を行っていることも、目標未達成の一因と考えられる。		
		最終実績値	16.5 t/人				
	指標③（伊東港の避難船受け入れ数の増加）	最終目標値	11隻	目標値と実績値に差が出た要因		対象船舶数を係留できる南物揚場（-3.0m）を整備したことで、目標を達成することができた。	
		最終実績値	11隻				
	指標④（宇佐美漁港の安全係船岸充足率（休けい）の増加）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因			対象船舶数を係留できる東留田東物揚場（-3.0m）を整備したことで、目標を達成することができた。
		最終実績値	100%				

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)	観光交流客数は、1,103.5万人/年（H21）から1,127.2万人/年（H26）の23.7万人（2%）増加傾向である。
--	---

<b>3. 特記事項（今後の方針等）</b>	
<p>遊覧船及び旅客船の利用客数を集計した伊東市沿岸観光交流客数は、目標を達成できていないものの、市内への観光交流客数は近年着実に増加しており、また、伊東市が観光地域産業の活性化のため、伊東港の旅客船発券所に伊豆半島ジオパークを紹介する観光ビジターセンターを整備したことから、「城ヶ崎海岸北ジオサイト」を海上から遊覧するなど、関係者と共に施設の利用を促進していくことで、沿岸交流客数の増加が見込まれる。</p> <p>物揚場の老朽化問題を抱える富戸漁港については、今後引き続き漁船が安全に係留できるように物揚場の改良を行い、水産物の安定的な供給に寄与するよう、漁業就労者の労働環境改善に努めていく。</p>	

(様式6) 地域再生基盤強化交付金 (参考図面)

計画の名称	産業活力の向上と伊東の海、魅力再発見		交付対象	静岡県、伊東市
計画の期間	平成21年度 ~ 平成27年度			

